



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・又給手帳を</li> <li>・支給台帳の確認</li> <li>・補助金の申請</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・又給手帳を</li> <li>・支給台帳の確認</li> <li>・補助金の申請</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・又給手帳を</li> <li>・支給台帳の確認</li> <li>・補助金の申請</li> </ul>		
事務事業名	特別支援教育就学奨励事業	事務事業No.	20102000191	所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 合併後に市の給付事務を統一し、平成18年度から現行の給付事務を行っている。 特別支援学級への入級者の増加に伴い、特別支援教育就学奨励費の支給対象者及び支給額も増加傾向にある。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者が必ずしも困窮しているとは限らないので、支給を辞退する保護者も見られる。その一方で、より支給額の大きい就学援助制度を申請する保護者も見られ、経済的な差があることが見受けられる。また、この制度を希望する保護者が事務手続きを進める上で、学校関係者による保護者への支援が必要となる場合が多く見られる。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して、特別支援教育就学奨励費を支給し、保護者の経済的負担を軽減することにより、教育環境の向上・義務教育の充実に結び付く。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 義務教育は世帯の経済状況に因らず等しく受けられる必要があるため、この事業で保護者の経済的負担を軽減することは妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 国の要綱に定められた対象に対して支給を行っている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 対象児童生徒がいる世帯に経済的負担が生じ、児童生徒が安心して義務教育を受けることができなくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 支給額、支給対象は国の要綱に基づいており、削減余地はない。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 支給額、支給対象は国の要綱に基づいており、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 支給を辞退する保護者もいる。その一方で、より支給額の大きい就学援助制度を申請する保護者もあり、経済的な差があることが見受けられる。また、この制度を希望する保護者が事務手続きを進める上で、学校関係者による保護者への支援が必要となる場合が多くあった。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×		×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×		×																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認	
---	--	---	--